
ニューハーフ・マラソン

石山ウルマ。

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ニューハーフ・マラソン

【Nコード】

N0752P

【作者名】

石山ウルマ。

【あらすじ】

走ることとはつらい、本当につらい。

(前書き)

ニューハーフ (和製英語・New + Half、英・Transgender) とは、男性として生を受けた者が人為的に女性として生きたり、そうした風貌をして仕事や生活をする者の呼び名であり、現代日本における造語である。朝日新聞2010年9月16日。

村興しでも島興しでも、なんでもない。

ただ単に俺の身の周りにニューハーフが三人いた、半ば強引に走らせることにした。

お間違いない、これはハーフマラソンではない。

俺の周りに混血の友達はいない。

距離は3km。コースは道の高低差を知り尽くした町内および商店街。

ニューハーフ、元を正せば男だが、男らしい奴は一人もいない。

「バカよ、走るなんて貧乏人がすること」

「いやよ、走る姿そのものが下品だわ」

「私、走ったら死ぬわ」

俺にとってのこの三人は、バカだし貧乏だし、下品だし、死んでも惜しくない。

「走らなきゃ、お前達のお店にはもう二度と行かない」

「別に、ちっとも困りません」

「ならば、お前達の本名を公開する。清造に末吉に留男だったな」

俺は金融業を営んでいて、こいつ等の免許証のコピーを持っていた。

「さらに今後一切、金は貸さない」

走ることになった。

それでも最初は抵抗した。

「深夜に走りたい」

「だめ」

「早朝に走りたい」

「男に戻って走りたい」

「仮面をかぶって走りたい」

全てを許さなかった。

「ニューハーフはニューハーフで走れ、それが出来ずに女ズラをするな。自分の生き方に

に誇りを持てとは言わない、有るが儘を世間に見せてやれ。ビデオを撮るから親に送れ、

泣くような親なら親を泣かせてやれ。同窓会で見せてやれ。頑張つて走れ、利息を半分にマケたりしない」

三人はそれぞれが意気揚々と走った。

ゴール後に誰かが言った。

「今度は『オナベマラソン』だね」

翌週、俺も走った。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0752p/>

ニューハーフ・マラソン

2010年11月23日01時12分発行